

情報・プラット・フォーム

▼
特集1

高知県地場産業大賞募集と過去大賞受賞企業紹介

▼
特集2

県のSDGs推進の取り組みと
こうちSDGs推進企業登録制度の登録企業紹介

- | | |
|---|-------------------------|
| ■ 補助事業のご案内……………1 | ■ 羽ばたく!高知のものづくり……………10 |
| ■ 高知県地場産業大賞募集と過去大賞受賞企業紹介…2~4 | ■ 高知県工業技術センターだより……………11 |
| ■ 県のSDGs推進の取り組みと
こうちSDGs推進企業登録制度の登録企業紹介…………5~8 | ■ 紙産業技術センターNEWS……………12 |
| ■ 高知県よろず支援拠点通信……………9 | ■ お〜い!会員さん……………13 |
| | ■ INFORMATION……………裏表紙 |



補助事業のご案内

令和4年度 事業戦略等推進事業費補助金 3次募集

◆受付期間◆ **令和4年8月5日(金)～9月7日(水) 17:00 締切**

※新商品・新技術・新役務開発事業にエントリーの場合は、当センターの確認済みの製品企画書が必須です。
未作成の場合は令和4年8月26日(金)17:00までに製品企画書を提出し確認を受けてください。
※申請書、添付資料等の個別企業の記載内容に関わる質問については、令和4年8月26日(金)17:00まで可能とします。
以降は審査の公平性の観点から、一切お答えできません。

○募集内容

【補助対象者】 県内中小企業者等

【申請要件】 経営革新計画、事業戦略または経営計画等の各種計画を策定し、その計画に基づいた取り組みであること

【補助金額等】

	対象となる事業	補助上限額
①	新事業動向等調査事業、販路開拓事業、人材養成・人材確保事業、生産性向上支援事業、新商品・新技術・新役務開発事業	200万円 (②と併用する場合は新商品・新技術・新役務開発事業を除く)
②	新商品・新技術・新役務開発事業 (製品企画書2枚目までに基づく事業の場合)	1,000万円
③	海外販路開拓事業(グローバル枠)	200万円

※申請下限額は1申請あたり10万円です

【補助率】 1/2以内

【事業期間】 交付決定日から最長1年間

【審査方法】 審査会において申請企業によるプレゼンテーション及び質疑応答を原則として実施し、採択者を決定します。

【スケジュール(予定)】 ●審査会: 令和4年10月中旬頃 ●交付決定: 令和4年10月下旬頃

※交付決定日以前に着手した経費は補助対象外になります。

【新商品・新技術・新役務開発事業】
新たな製品の開発やデザインの改善

【対象経費】
原材料費・委託費・特許等の取得にかかる弁理士費用等

【新事業動向調査事業】
新商品を作る場合のマーケティング調査

【対象経費】
旅費・委託費等

【人材養成・人材確保事業】
幹部候補生の研修や就職相談会への出席

【対象経費】
講師謝金・旅費・出張小間料
新商品のパンフレット作製委託費等



本事業は例えばこんな内容に使えます!!

【海外販路開拓事業(グローバル枠)】
新たな海外展開のための市場動向調査や
海外の専門家の招聘

【対象経費】
専門家謝金・旅費・委託費等

【生産性向上支援事業】
生産ラインの生産性向上を図る取り組み

【対象経費】
システム利用料・委託費等

【販路開拓事業】
展示会出展での新規顧客の開拓

【対象経費】
旅費・展示会で配布する新商品の
パンフレット作製費等

詳しくは下記HPをご覧の上、応募フォームから申請してください

【募集HP】 https://joho-kochi.or.jp/center/kochisangyokikin_2022.php

【問い合わせ先】 公益財団法人高知県産業振興センター 経営支援部 経営支援課
〒781-5101 高知市布師田3992-2 □TEL:088-845-6600 □FAX:088-846-2556
□E-mail:kigyousinkou@joho-kochi.or.jp



新コーディネーターの紹介

デジタル化推進部 デジタル化推進課

勤務日: 毎週月曜日～金曜日

まつした はるお
松下 晴男



7月1日からデジタル化推進コーディネーターに着任しました。

前職では電機メーカーに勤務し、情報通信分野のシステムエンジニア・営業・事業企画に携わっており、学生時代のコンピューターとの出会いを含めると40年が経ちました。

IT、デジタル、IoT、ビッグデータ、AIなどの言葉が飛び交い、企業の皆様の中には少々混乱されている方もいらっしゃるかもしれません。

ただ、デジタルの世界はスマートフォンに代表されるように着実に“人に優しい存在”へと近づき、また商業利用の側面でも“ビジネスモデルが変化”したことで、導入のハードルが下がってきたことを実感しています。

もちろん、デジタル化を検討する上で業務分析など従来と変わらずに行うべき作業はあります。デジタルを活用して皆様の仕事や事業が、あるべきビジョンに向かって進むための身近な架け橋になれることをミッションとして着任のご挨拶とさせていただきます。

「皆様からのご相談を笑顔で、お待ちしております!!」

『令和4年度 第37回高知県地場産業大賞』の募集を開始しました!

高知県内で、魅力あるものづくりや地域の活性化に取り組んでいる方を募集しています。

高知県地場産業大賞は、高知県内で開発された製品や、地場産業に貢献のあった活動で、特に優秀と認められる方々を顕彰しています。高知県の商工部門において、昭和61年度から続く最も歴史のある賞です。企業、団体、個人の方を問わずどなたでもご応募いただけます。



応募対象

高知県地場産業大賞は、下記の2分野において、特に優れた企業・団体等を表彰しています。

●一般

- ①地場産品：高知県内で製造または加工された優れた地場産品（概ね過去2年以内に商品化されたもの）
- ②活動：高知県内の地場産業振興に貢献のあった活動（概ね過去2年以内に実施されたもの）

●高校生

校内で取り組んでいる地域の特性や資源を生かした製品・商品開発や、地域活性化の取り組みなど



メディアへの露出による販路拡大や、自社のイメージUPに効果あり!

各賞を受賞された製品・活動等は、マスコミへのプレスリリースや広報誌での紹介などで幅広くPRします。

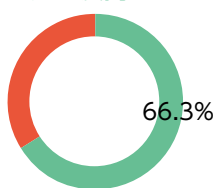
製品・活動のPRだけでなく、自社の認知度向上や信用力UP、社員の意欲向上につながったなど、受賞者の多くが受賞の効果を実感されています。（過去受賞者アンケートより）



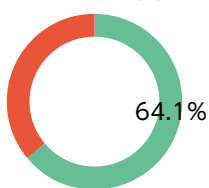
「令和3年度第36回高知県地場産業大賞」の表彰式の様子

受賞者アンケート「この受賞は貴社(団体)にとってどのようなメリットがありましたか?」(抜粋)

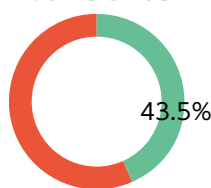
知名度向上



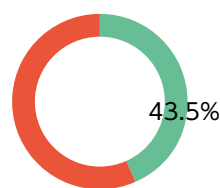
製品のPR効果



企業信用力の向上



イメージアップ



応募受付期間

●一般

令和4年8月1日(月)～
9月30日(金)

●高校生

令和4年8月1日(月)～
12月9日(金)



表彰予定

●一般

高知県地場産業大賞（賞金50万円、表彰状、記念品）
高知県産業振興計画賞（賞金20万円、表彰状、記念品）
高知県地場産業賞（賞金10万円、表彰状、記念品）
高知県地場産業奨励賞（表彰状、記念品）

●高校生

高知県地場産業次世代賞（表彰状、記念品、図書カード）

【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター 事業戦略・地産地消課

☐TEL:088-845-6600 ☐e-mail:jibasan@joho-kochi.or.jp

【高知県地場産業大賞の詳しい募集内容はこちら】



高知県地場産業大賞は、昭和61年度から続く歴史ある賞です。この長い歴史の中で、その時々生まれた商品や活動に応じて、次世代賞や新型コロナウイルス感染対策特別賞など様々な賞を設けてきました。

今回は、そうした数ある賞の中で、令和2年度と令和3年度に大賞を受賞した金星製紙株式会社とYAMA KIN株式会社との2社に、受賞後の反響などについてインタビューしました！

Q. 地場産業大賞に挑戦しようと思ったきっかけは何でしたか？

自分たちの開発した技術とその品質を知っていただくと同時に、商品に対する客観的な意見をいただく場として最適と考え、応募しました。開発段階からご支援をいただいている、県紙産業技術センターからの紹介も挑戦の後押しとなりました。

Q. 今回の受賞製品を開発するうえで、一番の山は何でしたか？

原紙の開発にあたっては、極細の繊維を空気中で均一に分散しシート化することが非常に難しく、全体の風合いを合わせるために、問題を1つずつ見つけて潰していく作業を4年続け、ようやく技術を確立し、「リモレイ（※）」というシートの完成に至りました。

肌触りの良さを最も活かせるアイテムとして、マスクを選びましたが、開発中に新型コロナウイルスの感染が拡大し、予定していた素材の確保が困難な状況となりました。これを受けて、不織布シートで口元とマスクを隔離し、マスク自体の商品寿命を延ばす「マスク用とりかえシート」を急遽

発案し、直ちに商品化に至ったことで、結果的に県内外におけるマスク不足に貢献することができました。



※同社が開発した繊維直径5μmの超極細繊維を使用したエアレイド不織布。交絡接合点が通常の不織布の約10倍あることで、毛羽立ちが抑えられ長時間使用しても滑らかな風合いが持続し、耐久性にも優れている。

Q. 大賞受賞後、受賞製品の反響はありましたか？

受賞直後は、新聞や全国ネットのテレビ番組で取り上げられたこともあり、当社ホームページの閲覧数が通常の数倍まで急増しました。商品の認知度が高まったことで、県内のスーパーやホームセンター、コンビニなどに積極的に採用していただけるようになり、現在は県外のドラッグストアや大手チェーン店等にも徐々に販路が広がっております。最近では、新型コロナウイルス感染により自宅療養を余儀なくされる方への支援物資として、県や自治体にも採用をいただいています。

Q. 受賞して御社にとってプラスになった点はどこだったところでしょうか？

メディア掲載などによる売り上げの増加に留まらず、雇用においては、新卒者の応募人数が2年連続で激増し、昨年には地場産業大賞の受賞記事やニュースを見てエントリリーしたという学生も見受けられるなど、金星製紙という社名の認知度が急速に高まったと感じています。

また、受賞によるさらふあブランドの確立をきっかけとして、当社の方向性が間違っていないことが改めて実感できたことを改めて実感でき、既存の家庭用品群でも「KanBey」という新ブランドを立ち上げ、販売方法を再構築することで新たな顧客獲得につながるなどの相乗効果が生まれています。



さらふあシリーズ



さらふあシリーズから派生したブランド

data

金星製紙株式会社は、日本で初めて乾式不織布の生産を開始した業界のパイオニアであり、100年以上の長い歴史がある。この伝統のチャレンジ精神を忘れず、様々な製造ラインや加工設備を駆使し、営業、開発、製造をはじめ各部署一体で、スピーディかつ顧客の要望に沿った細やかな製品開発を行っている。

- 住所 高知県井口町63番地
- 電話 088-822-8105
- URL

<http://www.kinseiseishi.co.jp/index.html>



Q. 受賞製品の今後の展開について、どのようにお考えでしょうか？

これまで当社は自社ブランドと言える商品群を持っていませんでしたが、「さらふあマスク」が外部から高い評価をいただいたことは、会社にとって大きな自信となりました。今後もブランドイング活動に力を入れ、さらふあシリーズの拡充を図るとともに、当社の技術を生かした新たなブランド商品を開発していく予定です。

Q. これから地場産業大賞を目指そうとする企業の方にアドバイス（エール）をお願いします

賞にエントリリーすることで、自社の商品や技術を広く知ってもらうだけでなく、その商品が本当に市場に求められているものなのか、自社の技術レベルはどの程度にあるのか等を客観的な視点で意見やアドバイスをもらえますので、まずは応募することに意義があると感じています。

また、審査までの期間は社内が一丸となり、従業員全体のモチベーションアップにもつながるなど、職場環境の面でも当社には好影響がありました。応募するだけでも多くのメリットがありますので、新たな商品開発や活動に取り組まれている皆様は、ぜひともチャレンジしてみてください。

Q. 地場産業大賞に挑戦しようと思ったきっかけは何でしたか？

自社の製品はB to B向けのものが多いので、一般の方に知っていただく機会がなかなかありません。そこで、地場産業大賞のような誰もが知っている賞には積極的に応募し、自社の製品開発力をもとより、会社を知ってもらいたいという思いで挑戦しました。

Q. 今回の受賞製品を開発するうえで、一番の山は何でしたか？

開発当初の試作品は、接着剤が硬めで、試験的に模型の歯に接着しようとしても被せ物が浮き上がる現象が起きました。そのため接着剤の柔軟さにこだわって、良いバランス・柔らかさで接着できるような試行錯誤した結果、被せ物を付けた際に違和感がないよう接着することができるようになりました。

Q. 大賞受賞後、受賞製品の反響はありましたか？

地場産業大賞の受賞後、マスコミから計4件の取材がありました。産学官連携の成果とも言えるこの製品について、歯科医師や多くの方々を知っていただける機会が増えたことをとてもうれしく思っています。

Q. 受賞して御社にとってプラスになった点はどういったところでしょうか？

様々な観点から研究を行うことにより、知識を蓄えられたことが会社にとって大きなプラスに



なったと感じています。接着剤という新しい分野に着眼したこと

で、これまでとは違った観点で研究を行うことができました。

また、このように研究開発した物を製品として賞に応募することで、社員のモチベーションの更なる向上や、次の製品開発に向けた研究に対する熱意につながっています。こういったサイクルができてからは研究の幅が広がり、次々と新たな開発につながっています。

実際、過去に地場産業大賞に応募した4製品は、1回目が歯冠用硬質レジン、2〜3回目が歯科用レジンブロック、そして今回が歯科用接着剤と、全てが関連した製品となっています。

Q. 受賞製品の今後の展開について、どのようにお考えでしょうか？

今回の受賞は自社にとっても大きなターニングポイントになっています。これまで歯科技工士向けの製品が多かったのですが、今回受賞した接着剤(※)は、歯科医師が扱う製品であり、お客様の幅が広がりました。今後は開発した際に培った知識や技術を活用し、歯科医師が扱う製品の研究や開発に力を入れていきたいと考えています。また、海外販路の拡大も目指している中で、海外の方にもご利用いただけるような製品開発にも注力していきたいと考えています。

※本製品は、高知工科大学環境理工学群小廣和哉教授らが合成方法を開発した、極小の金属酸化物単結晶一次粒子が無数に集合した球状多孔質ナノ粒子「MARIMO」を初めて商品化したもの。この粒子は阿寒湖のマリモに似た形状から「MARIMO」と



名づけられ、小廣教授らと宇治電化学工業株式会社(高知市)が県の委託・補助事業を活用した共同研究によって量産技術を確認。ヤマキンが歯科材料として5年の歳月をかけて商品化。

Q. これから地場産業大賞を目指そうとする企業の方にアドバイス(エール)をお願いします

地場産業大賞は、自社の活動を披露することができる場であると同時に、別分野の企業さんがあるような活動を行っているかを知る機会でもあるため、自他ともに良い刺激になります。また、受賞できれば高知県内に留まらず、全国的にも自社の活動を知ってもらうことができ、製品も認めてもらえる良い機会にもなります。

皆さんも地場産業大賞を活用して、自社のさらなる活性化、技術力の向上など次の世代につながる取り組みを一緒に目指しましょう。



data

YAMAKIN株式会社は、貴金属地金部門・貴金属加工部門・貴金属精錬部門・歯科材料部門の4つの事業を行っている。歯科材料部門では、複数の材料群で国内トップシェアにあり、中でも歯科医療のデジタル化に対応した「CAD/CAM冠用ブロック(歯科用レジンブロック)」では急拡大する市場において日本一の国内出荷量を誇っており、今後は国内外の歯科医師が治療に使用する材料開発も強化するなど、名実ともに「世界のYAMAKIN」を目指している。

(7月1日に本社登記を大阪府から高知県に移転)

- 住所 香南市香我美町上分1090番地3
- 電話 0887-55-0120
- URL <https://www.yamakin-gold.co.jp/>



県のSDGs推進の取り組みについて

SDGsとは、国際社会が2030年までに達成するべき、サステナブル（持続可能）な開発のために必要な目標です。近年、テレビや雑誌などでも目にする機会が増えてきました。

高知県においても、県内中小企業によるSDGsへの取り組みが広がっています。

高知県では、産業振興計画の柱の一つに「SDGsの広がりによる持続可能な地域社会づくり」を位置付け、取り組みを進めています。今月号では、高知県計画推進課の岡本課長に、県や県内事業者の取り組み状況についてインタビューを行いました。

あわせて、こうちSDGs推進企業として登録されている賛助会員の高知機型工業株式会社、四国スッピル工業有限会社の2社に、SDGs登録制度にエントリーしてよかった点などについてお聞きしました。

Q.SDGsが浸透する中、県内企業はどのように向き合い、取り組んでいくべきだと思いますか。

SDGsというと、17の目標を示したカラフルな図を思い浮かべる方が多いのではないかと思います。貧困や気候変動など、さまざまな課題の解決に向けた目標が示されていますが、ここから入ってしまうと、大変そうだな、という印象を持たれてしまうかもしれません。

国連で採択された計画を読むと、冒頭部分で、「経済」「社会」「環境」の3つの調和が重要であると述べられています。

これを企業活動という点で考えます



と、「経済」…収益をあげることはもちろん、「社会」…従業員を含めた地域社会との関係は切り離せないものですし、「環境」…周辺の環境に悪い影響を与えず、より良いものにしていくことが不可欠です。このように考えると、多くの経営者や社員の方々が日々取り組まれている企業の活動は、SDGsの考え方に通じるものといえます。

県では、こうした皆さまの取り組みを後押しするため、令和3年度から「こうちSDGs推進企業登録制度」をスタートしました。登録にあたって、チェックリストを用意していますので、皆さまが日々考え、取り組まれている内容を、SDGsの取り組みに落とし込むことができます。

まずは登録を検討いただいて、SDGsの考え方を生かした自社の持続的な発展を考えるきっかけにしたいだけだと思います。



Q.SDGsに取り組むメリットは何ですか。

たとえば商談会などで、バイヤーの方が県の登録制度を知り、登録している企業を教えてほしいと言われることもあります。

また、Z世代（19〜26歳）と呼ばれる若い人ほどSDGsに関心が高いという調査結果もあります。

このように、SDGsに関する意識は社会全体で高まってきており、SDGsへの取り組みが企業価値を高め、取引や人材確保の観点からのPRポイントにつながることが期待できます。

県としても、県HPやSDGsガイドブックへの掲載に加え、マスメディアの活用などにより、登録企業を積極的にPRしていきます。

その他、より直接的なメリットとしては、たとえば産業振興センターの「事業戦略等推進事業費補助金」の審査において加点項目となる措置もあります。



Q.県のSDGs関連の取り組みを教えてください。

県では、事業者のSDGsの取り組み段階に応じた支援策を用意しています。

まず、SDGsがどのようなもので、何に取り組めばよいのか、知っていただくための「ビジネスにつなげるこうちSDGs推進セミナー」を開催しています。

また、自社にてSDGsの取り組みを始めた

方や、登録制度に申請する前に専門家のアドバイスが欲しいという事業者向けに、アドバイザー制度もあります。令和3年度は29社の方々に活用いただきました。

自社におけるSDGsの具体的な取り組みなどが決まれば、「登録制度」にチャレンジしてください。登録制度では、県HP上で、2030年までの取り組み目標を宣言していただきます。令和3年度は169社に登録いただき、CO2排出量の削減や差別のない雇用など、各社各様の目標を設定いただいております。令和4年度は3回募集を行う予定で、第1回は62社にご登録いただき、引き続き多くの方々に関心をいただいております。

また、取り組みをより深化させたい登録企業を対象としたワークショップも用意しています。このワークショップでは、グループディスカッション等により、自社の強みや課題等に関する考察を深めることで、SDGsを生かした新事業展開や更なる企業価値の向上などにつなげていきたいと考えています。

ビジネスにつなげる「うちSDGs」推進セミナー

【第1回】令和4年7月19日（火）開催済

【第2回】令和4年11月4日（金）

【第3回】令和5年2月14日（火）

● 内容 講師による講演、登録企業による事例発表

● 会場 高知県立県民文化ホール
グリーンホール

※オンラインでの同時配信も行います。

詳細については、左記のホームページをご参照ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/sdgs-seminor.html>



参加費
無料

高知県SDGs推進アドバイザー制度

県内事業者を対象に、SDGsの達成に向けた取り組みを進める上での課題を整理・分析し、アドバイスします。また、うちSDGs推進企業登録制度への登録を目指す取り組みについても、課題に応じた解決策の検討・実行までをアドバイザーが支援します。

【派遣回数】原則として、1申請あたり3回まで

申請方法等については、左記のホームページをご参照ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/sdgs-adviser.html>



派遣料
無料

「うちSDGs」推進企業登録制度

【令和4年度第2回募集期間】

令和4年7月29日～9月15日

※第3回は、11月下旬以降に実施予定です。

【対象事業者】

県内に本店または営業所等を有し、県内において事業活動を行う法人、団体、個人事業主
※その他の要件等については、左記のホームページをご参照ください。

【要件】

①「環境」「社会」「経済」の3側面の取り組み・目標が設定されていること

②SDGs達成に向け、取り組んでいる具体的な内容が示されていること
申請方法等については、左記のホームページをご参照ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/sdgs-touroku.html>



「うちSDGs」登録制度登録企業対象「うちSDGs」ワークショップ

グループディスカッション等により、自社の強みや県の課題等に関する考察を深め、SDGsを生かした新事業展開や更なる企業価値の向上を目的とする体験型講座を開催しています。

※今年度の募集は締め切りました。

Q.今後の県施策の展開や、企業へのメッセージをお願いします。

高知県では、先述の取り組みの他にも、サステナブル（持続可能な）観光の取り組みも強化していきます。旅行者の間でも、観光商品に対して、ただ単に「楽しさ」や「美しさ」だけではなく、コミュニティの維持などの観点から評価する傾向が高まってきています。このような傾向をチャンスととらえ、SDGs達成に寄与する観光商品の造成や、県内外への情報発信に取り組んでいきます。

様々な分野で、SDGsへの取り組みに対して、評価される時代になってきています。県内事業者の皆さまには、このような時代に対応し、持続的な発展につなげていただきたいと思います。



【お問い合わせ先】
高知県産業振興推進部
計画推進課
■TEL：088-823-9049
■E-mail：
120801@ken.pref.kochi.lg.jp

インタビュー（高知機型工業株式会社の取り組み事例）

Q. SDGsに取り組みもうと思ったきっかけは何でしたか？また、取り組みの第一歩として行ったことを教えてください。

6年前に県内の会合でSDGsにすでに取り組んでいる方とお話をし、SDGsについて詳しく知る機会になりました。実際に、自社で行っている取り組みをSDGsの17項目に紐づけてみると、当てはまる箇所が多いことが分かり、SDGsの取り組みを推進しようという決まりました。

そういったなかで、県の計画推進課が開催するSDGsセミナーに参加し、これからの社会にSDGsは必要だと強く感じ、昨年から会社全体だけでなく、各グループ、個人ごとにSDGsの取り組みを目標に設定するなどの意識づけを始めました。

Q. なぜ「こうちSDGs推進企業登録制度」に登録しようと思いましたか？

「当社のSDGsの取り組みを周りの方々に知ってもらいたい」という気持ちから登録しようと思いました。また、取引先である大手企業からアンケートがくるのですが、以前までは環境についての内容だったものが、「CO2の削減や人権の問題に取り組みますか」といったSDGsの内容は今後取り組みますか」といったSDGsのライチェンとして、下請けも含めた全体でSDGsに取り組みようになつてきているという意識の変化を感じたことも、県の登録制度に登録しようと思ったきっかけの一つになっています。

Q. SDGs17項目のうち、達成に向けて特に注力して取り組んでいる項目は何ですか？

当社では主體的に17項目すべてに取り組んでいます。その中でも特に注力している項目が3点あります。1点目が「12 つくる責任」つかう責任です。これまでよりサイクルには力を入れてきましたが、昨年、廃棄物を大量に出していた部署を閉鎖し、廃棄物を出さない新しい型製作システムを構築しています。

そして2点目が「13 気候変動に具体的な対策を」です。今まで産業廃棄物として処理するしか

なかった細かい発砲スチロールと木くずの混合物を資源にするプロジェクトを推進中です。3点目が「5 ジェンダー平等の実現」です。製造現場でも女性が活躍しており、リーダー5人中3人が女性です。海外出身者もエンジニアとして活躍しています。また、男性の育休3カ月取得の実績もあります。

Q. 登録後、御社にとってプラスになった点はどういったところでしょうか？

昨年開催された県のSDGsセミナーでの事例発表や県のSDGs関連動画「Go to SDGs」の取材先として選ばれたなど、会社を外部にPRできる絶好の機会を得られたことです。活動を知ってもらえないことには、選んでいただける機会につながらないので、選んでもらう活動のPR↓知名度アップといった相乗効果が図れました。

また、昨年のものづくり総合技術展に出展した際の話ですが、こうちSDGs推進企業登録制度の登録企業は、ブース上の出展者名にロゴマークが貼られており、来場した学生たちから「SDGsの何に取り組みんでいますか？」といった質問をたくさんいただき、学生の多くがSDGsに対する意識が高いことを知りました。そういった面では、直接的ではないにしろ、今後のリクルートにつながるのではないかと期待を抱くことができました。

Q. 今回のSDGs制度登録を契機として、次にどのような展開をお考えでしょうか？

生産過程で出る産業廃棄物はお金を出して処理してもらっていましたが、ごみを極力出さない新システムを構築しています。この新システムでは、ベテラン職人がハンドワークで行っていた作業を全て機械化し、廃棄物をほとんど出さないシステムに替えました。また、廃棄物を資源にするプロジェクトも進行中です。

こうした取り組みによって、企業価値を上げること、お客様に選んでいただける企業になる、学生さんに選んでいただける企業になる、地域・社員に選んで（喜んで）いただける企業になっていきたいと思います。



↑ 大量に出していた廃棄物(有料で処理)



↑ 発泡スチロールゴミの資源化:社内溶解・インゴット化し、プラスチック原材料として出荷



高知機型工業SDGs推進ページ →



YouTube動画「Go to SDGs(高知機型工業株式会社)」 →



data.

自動車・建設用機械・農業用機械など、各種産業分野において、重要な役割を担う模型を制作。国内外に広がる幅広いネットワークと最先端の技術を活かして、短納期・高品質な型作りを行っている。

- 住所 香南市香我美町下分1244番地1
- 電話 0887-50-3988
- URL <https://www.nc-model-inc.co.jp/>



Q. これからSDGsの達成に向けた取り組みを指そうとする企業の方にアドバイス(エール)をお願いします。

SDGsの17の目標に紐づけてみると、どれか当てはまるものがあるはず。これをきっかけに新たなビジネスチャンスにつながるヒントが得られるかもしれません。目的を明確化すること、最終的にどういうことに貢献できているのか、社員も仕事に対して誇りを持って働くことができる、業績アップのきっかけとして、それぞれの会社で発展させていけるかと思っています。昔は「こみ」だったものが、今は「資源」として、リユースにより業績を伸ばした企業もあります。

こうちSDGs推進企業登録制度に申請することは自社の課題が見つかる良い機会になると思いますので、まずはSDGsに取り組みきっかけとして登録を考えてみてはいかがでしょうか。



インタビュー(四国スッピル工業有限会社の取り組み事例)

Q. SDGsに取り組みようと思ったきっかけは何でしたか？
また、取り組みの第歩として行ったことを教えてください。

「SDGs」という言葉が身近に聞こえ始めてきた頃に、県の方からSDGsについての説明会があるとお話いただきました。「最近よく耳にするし、とりあえず知っておこう」といった感覚で説明会に参加したことがきっかけです。

Q. なぜ「こうちSDGs推進企業登録制度」に登録しようと思いましたか？

説明会に参加して話を聞くなかで、健康経営や働き方改革、省エネなど弊社が日頃から積極的に取り組んでいる取り組みがSDGsの17項目に当てはまることを知り、SDGsの波に乗るチャンスをだと思いました。また、会社の環境を良くするために取り組むことはもちろんですが、SDGsに登録していると補助金等の申請の際に加点になる場合があったので、そういった面も含めて登録に至りました。

余談ですが、高知県独自のSDGsロゴマークも製作されるということで、とても楽しみにしていました。発表されたクジラのロゴマークを見たときは、高知の特色を生かした素敵なデザインに感動したのを覚えています。

Q. SDGs17項目のうち、達成に向けて特に注力して取り組んでいる項目は何ですか？

『男女ともに働きやすい職場環境づくり』の達成に向けては、特に力を入れています。弊社のような製造業は業種的に男性のイメージが強いと思われるのですが、あるとき現場の求人にもたまたま女性からの応募がありました。その後リクルート動画で、現場で活躍する女性社員の紹介を行ったところ、再び女性からの応募がありました。動画の影響はしっかりありましたが、トイレや更衣室、産休育休など今まであまり意識してこなかった部分も見え始め、設備や制度の見直しを行うきっかけになりました。



けになりました。それから女性社員の採用を積極的に行い、現在では5名の女性社員（全員別業種の未経験）が現場で働いています。もちろん、女性だけではなく男性の育休も積極的に取得できる環境づくりを行うなど、これからは会社全体でしっかりフォローしていきたいと思っています。

Q. 登録後、御社にとってプラスになった点はどういったところでしょうか？

自社の現状をSDGsの17項目に照らし合わせることで見える化、会社として大切にしていきたいことが明確になった点がよかったです。見える化ができたことで、改めて自社を知るきっかけにもなり、取り組みを通じて今まで見えなかった様々なものが見えてきました。

また、SDGsに取り組んでいるということをPRできる点も良いと思いました。今の学生はSDGsについて学校でも勉強していますし、取り組みがあたりまえになっていると思います。そんな時代になってきつつあるので、SDGsに取り組んでいるといえないのでは、周囲からの見られ方も変わってくると思いますし、求人募集においては、応募する際の判断基準のひとつにもなってくるかと思っています。今後のことを考えると、早い段階で登録して本当に良かったです。

Q. 今回のSDGs制度登録を契機として、次にどのような展開をお考えでしょうか？

弊社で製造している部品は油圧関係の物がほとんどなのですが、中には介護向け浴槽昇降装置などに使われている水圧シリンダーの部品も少量ですが製造しています。このような高齢化社会・環境問題解決につながるような加工案件は、前向きに検討していきたいです。また、より良い職場環境づくりや、デジタル化による生産性向上も推進していきたいと考えています。

Q. これからSDGsの達成に向けた取り組みを目指そうとする企業の方にアドバイス（エール）をお願いします。

今回SDGs登録制度に向けた申請作業を進めるなかで、普段から自社で感じている問題を見える化することは大事なことでと改めて気づかされる

ましたし、自社の現状を知るためには非常に良い機会だと思っています。そのなかで、実際にどのような取り組みでいくかは各企業が自由に考えることができます。小さな取り組みが、大きな成果につながることもきっとあるはずです。まずはあまり身構えず、気軽な気持ちで取り組んでみてはいかがでしょうか。



data

主に工作機械用精密部品や建設機械用精密油圧部品を取扱い、NC旋盤加工品にプラスした複合加工の製造を行う。
あらゆるニーズに対応できる製品づくりを目指して、加工技術の向上と生産体制の合理化を図り、より高品質・高精度なものづくりとコストダウンに、社員一丸となって挑戦している。

四国スッピル工業有限会社

- 住所 南国市下末松71-4
- 電話 088-863-2675
- URL <https://www.shikoku-suppile.co.jp/>



リフルート動画
「スッピル女子に聞く」



会社HP



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆様の売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

EXCELでここまでできる売上管理

～納品書、請求書を作成するだけのEXCELから、業務の効率化・情報活用のEXCELに大変身～

1. 相談のきっかけ

WANLIFE (ワンライフ) は、2014年から四万十市古津賀でドッグラン併設のペットホテルを運営し、幡多観光の拠点としてにぎわっています。

2017年からは、厳選した高知県産の素材を原料としたペットのおやつを開発し、阪急百貨店を中心に販売されています。

事業の拡大や取引増加に伴い、業務の効率化を検討していたところ、当拠点にIT (内部管理) のコーディネーターがいることを知り、ITを使った業務効率化に向けてのWEB相談がありました。

2. 相談内容・課題分析

相談内容としましては、必要の都度、データを入力して印刷しているEXCELの納品書、請求書をもっと簡単に作成できるようにしたいという内容でした。

課題分析としましては、EXCELが納品書、請求書を印刷するための活用になっており、一度入力したデータの活用ができていない状態でした。

そこで下記の3点について整理しました。

- ① 納品書と請求書の印刷に必要な商品と得意先の情報をデジタルとして整理
現状の納品書・請求書から、必要となるデジタル情報を提示し、その資料に沿って、事業者の商品情報と得意先情報を整理しました。
- ② インボイス対応の納品書、請求書を簡単操作で印刷
現在使用している納品書・請求書の形式を継承しつつ、インボイスに対応できるように仕上げ、簡単操作で印刷できるようにしました。また、PDF形式の出力にも対応できるようにしました。
- ③ 売上情報の入力を簡素化
商品と得意先の情報をEXCELの機能で参照できるようにし、日々の売上情報を簡単に入力できるようにしました。



①②請求書印刷画面のサンプル



③売上データ入力画面のサンプル

3. 支援後の結果

成果として、日々の売上情報の入力が簡素化でき、納品書・請求書の作成作業の効率化ができました。今後はさらに、入力した売上情報を活用して、販売・在庫状況に合わせた需要予測、生産 (依頼) ができるように進めていきます。

対応者の一言

EXCELは様々な機能を持ったツールです。事業者が自らカスタマイズすることにより、最適な業務オペレーションシステムを作ることができます。事業者のニーズに合わせた最適なツールの選択、システム構築から運用までのアドバイスを通して、事業者の経営を支援していきたいと思っています。

コーディネーター 佃 仁

エクセルは苦手意識から初歩的な作業のみをしておりましたが、ご指導いただき、ステップアップすることで自分を手助けしてくれるツールだということがよくわかりました。

PCのスペック等も丁寧にアドバイスいただき、業務で時間がかかってしまっていたところを大幅に短縮することができました。よろず支援拠点に気軽に相談してみて、大きく改善できてよかったです。



WANLIFE (ワンライフ)

代表：梅原 俊順
(うめばら じゅんすん)

〒787-0010

高知県四万十市古津賀304-1

TEL:0880-35-1589

HP:https://wanlife-kochi.com/

相談者の声



【提出先・問い合わせ先】 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

□ 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

□ Email : yorozu@joho-kochi.or.jp

□ TEL : 088-846-0175 □ 対応時間 8:30～17:15 (土日祝日を除く平日)

高知県よろず

Q検索

高知家の「ミニ展示商談会」を開催しました

東京営業本部 外商コーディネーター 水野 三津夫 (大阪事務所)、菅井 滋 (東京事務所)

東京営業本部では、今年度「ミニ展示商談会」を11回開催します。令和2年度・3年度は、コロナの影響を受けて中止・延期を余儀なくされましたが、今年度は6月の第1回から順調にスタートしています。

今月号では、7月上旬に開催した2つの「ミニ展示商談会」をご紹介します。いずれも多くのバイヤーにご来場いただき、出展企業の皆さまは、販路拡大を目的にそれぞれの製品の特長をPRし商談を行いました。我々外商コーディネーターはひとつでも多く商談していただけるよう出展企業の紹介や案内、商談の支援をさせていただきました。

各回の継続案件につきましては、外商コーディネーターが出展企業の皆さまのご要望をお聞きしながら、後追いフォローを行うなど成約、販路拡大へ向けた支援をさせていただきます。

7月5日(火)「防災関連製品・技術」ミニ展示商談会 (大阪・あべのハルカス)

今回は、防災防災総合展 (6/9-10 インテックス大阪) に来場された方や、今年度から新しく始めた防災WEBセミナー (6/28 工業振興課主催) に参加された方などを招聘。防災関連商社や百貨店、独立行政法人など20社 (団体) 31名にご来場いただきました。

大手百貨店のバイヤーからは「さまざまなところに提案ができる」、防災商社からは「まずは自治体の実績を作りたい」などの商談や要望、さまざまなご意見をいただきました。当日は、70件の商談が行われ、即日の見積り依頼22件など40件の商談が継続案件となりました。

出展企業等	出展製品
アクアデザインシステム株式会社	災害用浄水装置
機能素材株式会社	抗菌、流せる、ずれない便座シート
株式会社ケイウッド	折りたたみ式防災ボート、ヒートライム
有限会社四国浄管	災害トイレ2Ways大地くん
SLICK株式会社	味も栄養も凝縮したドライ野菜/果物
株式会社ダイセン	超高輝度蓄光誘導標識、ソーラーLED誘導灯
高知県	減災技術、観光・企業誘致等



7月7日(木)「ギフト・ノベルティ関連製品」ミニ展示商談会 (東京・第一ホテル)

今回は、インテリアライフスタイル展示会 (6/1-3 東京ビッグサイト) に来場された方などを新たに招聘。大手百貨店や老舗雑貨店、通信販売・カタログ販売会社など32社 (団体) 45名にご来場いただきました。

大手百貨店のバイヤーからは「ある法人向けにプレゼント需要として具体的な提案をしていきたい」、大手出版社の担当者からは「雑誌のコラボ製品として紹介したい。持ち帰って社内で検討する」など具体的な商談がされました。43件の商談が行われ、見積り依頼12件など22件の商談が継続案件となりました。

出展企業等	出展製品
株式会社ケンセン35	宝石サンゴ数珠
土佐草木花	かなな屑を使ったお花(かなばフラワー)
株式会社土佐龍	「四万十ひのき」の間伐材などを利用した製品
有限会社戸田商行	ピュアエッセンシャルオイル、木毛商品
ひだか和紙有限会社	世界一薄い紙(文化財修復用)など
株式会社ミロクテクノウッド	天然素材を精密加工した工業製品
株式会社モリサ	和紙をアレンジした障子や屏風、照明器具
高知県	防災関連登録製品、観光・企業誘致等



【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター 東京営業本部

東京事務所 □〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル8F

□TEL: 03-6452-8830 □FAX: 03-6452-8831

大阪事務所 □TEL: 06-6244-7934

名古屋事務所 □TEL: 052-684-4904

東京営業本部

facebook

こちら→



高知県のどぶろくがコンテストで受賞しました！

高知県で製造されたどぶろくが、「全国どぶろく研究大会」で開催されたどぶろくコンテストで受賞しました。食品開発課では、高知県濁酒研究会に対して製造技術の指導、品質管理のための分析、研修などの支援を行っています。

どぶろくコンテストの受賞商品は6銘柄

「どぶろくコンテスト」は、全国から集まったどぶろくの味・香り・華やかさを競う品評会となっており、品質・製造技術の向上に資するとともに、製造者の意欲を高めることが目的とされています。

今年2月に愛知県大府市で開かれた第15回どぶろくコンテストでは、高知県濁酒研究会に参加している製造場のどぶろく6銘柄が受賞しました。

受賞したどぶろくは、香味が良好でどぶろくの良さを活かした商品になっています。製造場や高知市のアグリコレット、各製造場のある地域の道の駅などで購入することができます。

	受賞した賞	銘 柄	製造者	地 域
濃芳醇の部	最優秀賞	和	農家食堂まえまき	奈半利町
	優秀賞	楼古狸	清水園	中土佐町
	入賞	榮壽(桜)	どぶろく工房香南	香南市
淡麗の部	最優秀賞	榮壽(黒)	どぶろく工房香南	香南市
	優秀賞	榮	清水園	中土佐町
	特別賞	年	農家食堂まえまき	奈半利町

濃芳醇の部



淡麗の部



高知県濁酒研究会への支援

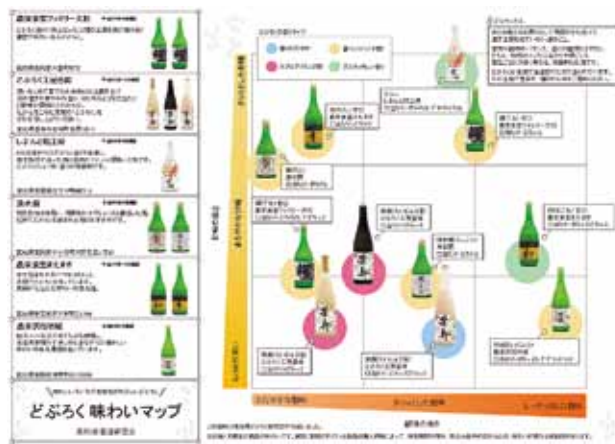
当センターは高知県濁酒研究会に対して、製造技術の指導や品質管理のための分析、研修での講師派遣などの支援を行っています。

2022年6月8日に行われた研究会では、コンテストでの評価の解析結果の解説と製造における基礎知識(米、麹、酵素、酵母、仕込み方法と配合、どぶろくの分析項目と各製品の分析値)についての説明を行いました。



高知県濁酒研究会での研修

また昨年12月には同研究会に所属する業者の商品の香味に関するマップの作成を支援しました。



どぶろく味わいマップ(高知県どぶろく研究会作成)

どぶろくの他にも、農産、水産、醸造発酵など高知県で製造されている食品であればさまざまな支援ができます。ぜひご相談ください。



新規導入設備について

当センターに新規導入された器材を紹介します。

①繊維形状分析器

本装置は、セルロースナノファイバー（CNF）を含む微細繊維原料の評価や、CNF原料の前処理、製造過程などを確認することができます。

【測定項目】繊維長、繊維幅、シェイプファクター、ファイン、粗度、フィブリル化指数（面積比、周囲長比）測定、ファインのクラス分けなど。

【型式】L & Wファイバーテスタープラス繊維形状分析器（ABB株式会社）



②細孔分布測定装置

本装置は、バブルポイント法に基づく多孔質機能材料の貫通細孔径測定装置で、圧力安定性アルゴリズムによる正確な細孔径測定（圧力ステップ/平衡法）ができます。

【測定項目】フィルター・セパレーター等のフィルタリング性能、捕集性、液体/気体透過性に関わる貫通細孔径分布や、シート基材の液体透過性能など。

【型式】POROLUX1000-K（Aptco Technologies社）



③全有機体炭素計

本装置は、生分解後に素材から発生する水溶性の有機物や微生物の発する二酸化炭素の濃度を測定することができます。

【測定項目】全炭素（TC）、無機炭素（IC）、全有機体炭素（TOC）、酸性化通気処理全有機体炭素（NPOC）など。

【型式】TOC-L CPH（株式会社島津製作所）



SDGsを意識した紙及び不織布の開発研究講演会の開催について

当センターでは、生分解性素材を使った紙及び不織布の試作や機能検証を行った成果を発表します（この分野に興味のある県内企業を対象とします）。

- 1 日程 第1回：令和4年6月24日（実施済）
第2回：令和4年9月30日（予定）
第3回：令和4年12月（予定）

- 2 会場 高知県立紙産業技術センター 研修室
（詳細な日程については、センターHPへの掲載やメールニュースにてお知らせします）

【お問い合わせ】 紙産業技術センター企画調整室 088-892-2220

お～い会員さん

賛助会員の皆様をご紹介します！

宇治電化学工業株式会社



主に自動車部品等に使用する研磨剤

会社案内 研磨材製造の工程にある粉体加工技術を駆使し、さまざまな素材の粉碎、分級、混合、測定を受託するサービスを行っております。受託加工専用の工場にて加工を行い使用設備は案件ごとにすべて分解し、徹底的に水洗浄を行います。各品種ごとに、生産工程図、管理、作業指示書まで対応。スムーズな工程監査の受け入れ体制を整えています。数百g～数十tまで幅広く対応。ラボ試験も可能です。設備投資をしない、御社の「自社工場」としてご利用ください。

- 代表者：代表取締役社長
西山 彰一
- 所在地：高知市棧橋通5-7-34
- TEL：088-832-6161(代表)



株式会社関西設備



会社案内 高知県内において空調・給排水・衛生設備工事とメンテナンスを手掛けて、50年を超える業歴に裏打ちされた信頼を築き上げてまいりました。省エネ設備の施工による環境保全に貢献できることを目指しています。当社は、東証上場企業である(株)四電工のグループ会社として提携関係の深化を通じ、さらに企業基盤の充実・強化を図ってまいります。

- 代表者：代表取締役社長
長瀧 益雄
- 所在地：高知市布師田3961番地10
- TEL：088-846-2222



久保田食品株式会社



会社案内 私たち久保田食品は大手アイスクリームメーカー主導の業界の中、独自のコンセプトでアイスクリーム、中華まんじゅうの製造販売を行っている四国高知のローカルメーカーです。50種類以上の市販用アイスクリーム、100種類以上の業務用アイスクリームのほか、冷凍中華まんじゅう・ホットケーキを製造し、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどの量販店、ホテル、飲食店等へ卸販売しています。

- 代表者：代表取締役社長
武市 学
- 所在地：南国市岡豊町笠ノ川1032
- TEL：088-862-0071



株式会社クリーム



会社案内 ホームページ制作、デザイン、印刷の会社です。ホームページ、企画、デザイン、ブランディングを得意とし、ハイグレードのチームデザインと創業60年の経験に基づく印刷会社のノウハウでお客様のご要望にワンストップで強力にお応えします。ぜひQRコードからホームページをご参照ください。

- 代表者：代表取締役社長
片岡 孝元
- 所在地：高知市一宮西町1-8-22
- TEL：088-845-2211



高知ちばさんセンター貸し出し

会社内での研修や各種イベントに
高知ちばさんセンターを使ってみませんか？

商談室、会議室、研修室、多目的ホールは8～130人
まで対応できます。

各種割引サービスも充実！

**大ホール
県内企業応援割引・単年度複数回割引等**

**商談室・会議室・研修室・多目的ホール
賛助会員割引等**



大ホール



多目的ホール



研修室1



研修室2



会議室



商談室2



商談室3



商談室4

◆ 基本使用料金

消費税込 (単位: 円)

	面積 (㎡)	収容人員 (人)	全日	午前	午後	夜間	超過料金
			9:00～17:00	9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～21:00	1時間につき
大ホール	3,000	5,000	平日 231,550 土日休 302,720	110,990	147,730	162,360	15,400 20,130
多目的ホール	256	132	36,630	17,490	23,320	25,630	8,580
会議室	48	20	7,040	3,300	4,620	5,060	1,650
商談室(No.1～4)	24	12	3,520	1,650	2,310	2,530	880
研修室1	128	108	18,480	8,800	11,770	12,980	4,290
研修室2	80	45	11,660	5,500	7,370	8,140	2,640

※大ホール：別途清掃料、ゴミ収集料がかかります。

(冷暖房使用料は別途)

商談室：貸し出しを停止している部屋、時間帯があります。

【お問い合わせ・お見積り・ご予約】 (株)四国環境管理センター ちばさん事業部(担当:中屋)

TEL:088-846-0311 FAX:088-803-8510 E-mail:diba-yonkan@cup.ocn.ne.jp URL:<https://diba3.com/>

ご利用に際しましては、「3密」の回避やマスク着用、手洗い・手指の消毒等の
感染対策をお願いいたします。

また、感染者の発生状況等によっては、やむを得ず開催規模の縮小や利用停止を
お願いする場合がございますことをご承知おきください。

ご利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますよう
お願い申し上げます。

◆ 詳しくは、「高知ちばさんセンター」HP をご覧ください。 <https://diba3.com/>



区 分	受付期間	名 称	内 容
表 彰	一般 8月1日(月)～ 9月30日(金) 高校生 8月1日(月)～ 12月9日(金)	令和4年度第37回 高知県地場産業大賞	高知県内で創り出された優れた地場産品や 地場産業の振興に貢献のあった活動を表彰 します。
補 助 金	8月5日(金)～ 9月7日(水) 17:00	こうち産業振興基金等事業 令和4年度事業戦略等推進事業費 補助金3次募集	県内中小企業者の海外展開促進や海外人 材の活用等事業戦略等の実現化を図る取り 組みに係る費用の一部を補助します。

区 分	日 時	名 称	場 所
セミナー	8月24日(水) 9月28日(水) 10月24日(月) 11月16日(水) 全日程 13:30～16:30	WEBサイト「売上・収益アップ」 実践セミナー 8月24日…無名なのに選ばれる「○○」術 9月28日…WE B担当者養成、虎の穴コース 10月24日…直前！GA4対応アナリティクス術 11月16日…“たまたま売れた”から“目標必達”へ	【オンライン開催】 ※新型コロナウイルスの状況が 緩和されれば下記会場にて 開催します。 ぎばさんセンター 2 階 研修室 1
セミナー	8月24日(水) 13:30～15:00	instagram写真の撮り方	ぎばさんセンター1階 商談室2
セミナー	9月12日(月) 14:30～16:00	展示会で商談機会をUPさせる！ 展示会ブース・ディスプレイの作り方 ～並べ方の基礎からブース装飾まで～	高知県工業技術センター2階 研修室1・2
セミナー	9月15日(木) 13:30～16:30	本当に伝えたいことを伝えるための撮影術	ぎばさんセンター2階 研修室1
セミナー	9月21日(水) 13:30～15:00	Googleマップのビジネス活用	ぎばさんセンター1階 商談室2
セミナー	10月19日(水) 13:30～15:00	SNS文書の書き方	ぎばさんセンター1階 商談室2
商 談 会	11月10日(木) ～12日(土) 10:00～16:00	ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展	ぎばさんセンター 大ホール他

【お問い合わせ】 高知県産業振興センター 088-845-6600

セミナーなどは事前に申し込みが必要です。
受付方法やその他の詳細については、お問
い合わせください。

公益財団法人 高知県産業振興センター

賛助会員 & 広告募集

中小企業支援機関（公財）高知県産業振興センターでは、賛助会員の皆さまに
様々なサービスを企画し、役立つ情報を提供しています。
年会費は1口1万円で企業・団体・個人等どなたでもご入会いただけます。
ぜひご利用いただき、経営の向上にお役立てください。
また有料広告の掲載についても随時募集しております。

賛助会員の皆さまにご利用いただける主なサービス

- 月刊情報誌「情報プラットフォーム」の無料配布
- 「情報プラットフォーム」での商品、製品、サービス紹介
- DVDの貸出
- 施設利用料金の割引
- IT 110番
- 企業情報検索

- 「情報プラットフォーム」有料広告欄の費用を割引
〈通常〉裏表紙A4 1頁(県内・原版あり) ¥40,000
⇒ 《賛助会員》なら **¥20,000**
〈通常〉中面A4 1頁(県内・原版あり) ¥35,000
⇒ 《賛助会員》なら **¥18,000**



お問い合わせ

(公財) 高知県産業振興センター 賛助会員担当 TEL 088-845-6600 FAX 088-846-2556